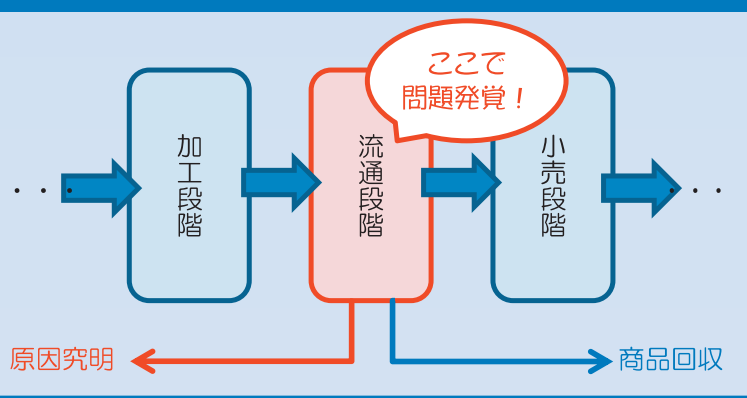


# 特集 「トレーサビリティ」 を考える



「トレーサビリティ」とは「生産履歴管理システム」のこと。当JAで導入しているこのシステムについて、基礎的な部分をおさらいしてみます。

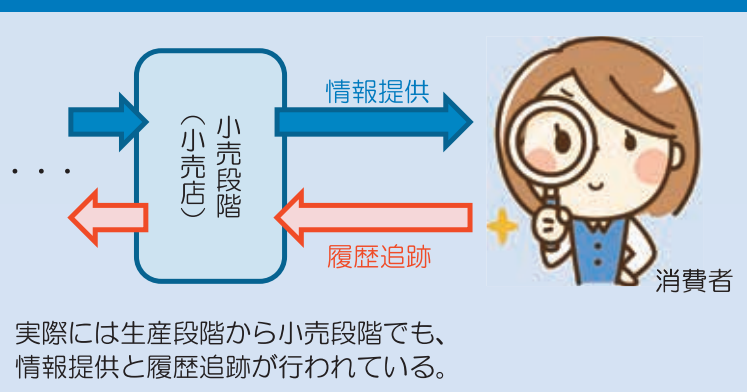
## 食品トレーサビリティのイメージ



**本来の目的は、  
食品の移動を把握すること**

トレーサビリティのしくみがある本来の目的。それは、「もの」と「情報」の関連付けを行って事故が発生したときに商品の回収などといった素早い対応を行うためです。トレーサビリティそのものが食品の安全を保証するわけではありません。

## 情報開示で安全・安心を確保



**トレーサビリティの確保が  
安全・安心につながる理由**

今日、消費者や販売店は「おいしさ」+「安全・安心」を産地に求めています。このうち、安全・安心に関わる部分には必要に応じて情報開示が求められています。

開示された情報を消費者や販売店が得ることで、トレーサビリティの確保が安全・安心につながっています。

## 常に安心・安全を届けるために JA相馬村の場合

消費者へ安心・安全を担保するためにJA相馬村が取り入れている仕組みが、毎年春にりんご生産者へ配布している冊子「JA相馬村農産物信頼システム」です。この冊子は防除記録・誓約書・農作業記録簿・生産量調査・GAPチェックリストで構成されてお

り、提出いただいた書類については必要時にはすぐ情報を取り出せるようにしています。

たとえば毎年10月に回収している「農産物防除記録」は、食品衛生法に基づいて全農あおもりが実施している「残留農薬検査」の際に、検体とともにこの防除記録を全農あおもりへ提出し、残留農薬検査を実施しています。

## JA相馬村 農産物取り組み宣言

前段で取り上げた防除記録の回収時に、左記の内容を記した誓約書も提出していただいています。これは簡単にいうと「消費者が求める商品づくりに協力します」という内容であり、いわばJAとりんご生産者との「約束事」ともいえるものです。

約束は  
守ります！



## 情報開示の例（残留農薬検査）

JAから全農あおもりへ検体と防除記録を提出し、残留農薬検査を実施しています。

JA相馬村

- 検体（りんご）
- 防除記録

を提出



全農あおもり

## 誓約書 ～JA相馬村農産物取り組み宣言～

私はJA相馬村農産物取り組み宣言に基づき2014年度農産物優良生産規範を記し責任を誓約します。

### JA相馬村農産物取り組み宣言

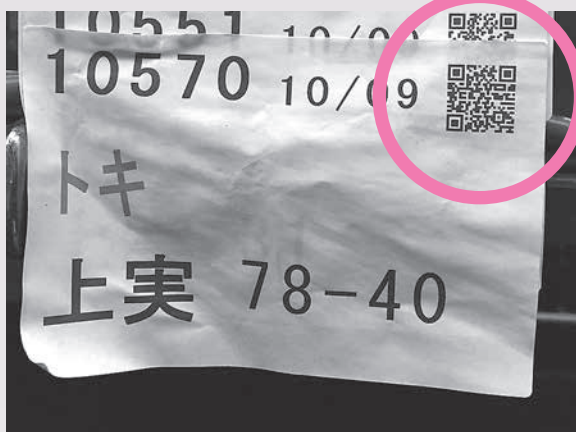
1. 生産する農産物及び加工品は安心と信頼を確保し、消費者ニーズに応えます。
2. 肥料・農薬・生産資材等は、適正基準に基づいたJAブランドを使用します。
3. 有機質栽培並びに減農薬栽培を強力にすすめるため、JA指導栽培、防除基準に基づき栽培管理します。
4. 的確な生産記録をし、生産から出荷までJAブランド商品づくりに貢献します。
5. 消費者と生産者が共生できる農産物づくりに努めます。

**消費者が簡単に  
情報を得るための工夫**

近年ではさまざまな場面で手軽に情報を得る方法として、二次元コードであるQRコードの利用があります。QRコードをカメラ付き携帯電話やスマートフォンなどで読み取り、表示されたホームページから生産者の生産履歴情報を閲覧する・・・といったことも可能です。

情報化が進んでいる今日では、このような方法で情報を得ることが一般的になってくるのではないのでしょうか。

○の部分がQRコード。  
選果でも用いられている。



**QRコードは例えばどのように利用する？**

- ① このコードを読み取ると
- ② ホームページのURLが表示され
- ③ ホームページを表示することができます

**おわりに**

情報化が進んでいる現在では、消費者が欲しい情報を手軽に取得できるようなシステムを作ることが不可欠です。また今回紹介したQRコードを用いると、りんご1個単位で生産履歴を追跡することも可能です。

いま生産者の皆さまにはりんごの防除記録や生産日誌などを記録・提出していただいています。これは飛馬りんごの有利販売に向けて必要不可欠な情報です。皆さまにはお手数をおかけしますが、毎月職員が訪問した際には左記の書類の提出をよろしく願います。

**提出の必要な書類**

- |              |   |       |
|--------------|---|-------|
| ① 防除記録       | } | 10月提出 |
| ② 誓約書        |   |       |
| ③ GAPチェックリスト | } | 12月提出 |
| ④ 作業日誌       |   |       |
| ⑤ 生産量調査      |   |       |